

we all need



for healthy, thriving and engaged communities

## 健全で安全な コミュニティには多くの人々に 愛される公園があります

### 公園はコミュニティを強化します

公園は数えきれないほどの健康上の利点、社会的な利益、経済的な恩恵をコミュニティにもたらします。たくさんの公園と質の高いレクリエーション施設を備えたコミュニティは繁栄します。

### 健康の増進

よく管理された公園を利用できると子供も大人も身体活動が増加することが、数々の調査によって明らかになっています。<sup>1</sup> 身体活動は人生のあらゆる段階において健康維持に欠かせません。身体活動は全身の健康を増進し、肥満と糖尿病を予防し、高血圧と心臓病のリスクを軽減し、子供の注意欠陥のレベルを低下し、認識能力を改善し、攻撃的な行動を減少させます。

また、公園の近くに住む10代の若者は、推奨される運動量を実行する可能性が30%高くなります。<sup>2</sup> しかし、ロサンゼルス郡の150万人以上の子供たちには、家から歩ける距離に公園がありません。<sup>3</sup> そして、公園の少ないコミュニティでは30%もの住人が肥満状態にあります。<sup>4</sup> **ロサンゼルス郡は、低所得コミュニティにおける公園とレクリエーション施設の増加の必要性に迫られています。こうした地域では、健康の増進と慢性疾患の予防によって医療費の低減とコミュニティの福祉改善に大きな効果をもたらされる可能性があるのです。**

### コミュニティの団結力の強化

さまざまな生い立ちや年代の人々が同じ公園を利用し、より活動的であることを奨励する社会的な雰囲気の中で交流することで、お互いについての理解を深めます。公園の利用によってこれが実現し、地域の公園が提供する数多くのプログラムへの参加によりますます推進されることになります。公園はコミュニティの団結をもたらし、より安全で強力な地域を実現するのです。

(裏面へ)



ロサンゼルス郡全域対象公園および  
レクリエーションのニーズ総合評価



### みなさんのご意見を お聞かせください!

郡と88の市では既存の公園、レクリエーション施設、オープンスペース、文化およびパフォーマンスアート会場についての評価を実施しています。公園の現状がどのようなものであり、修理改築にはどれほどの費用がかかるのでしょうか？家から歩いて10分以内の距離に公園がありますか？公園が限度以上に利用されていたり、整備や別の設備を必要としてはいませんか？この評価によって公園の現在の状態に対する理解が深まります。

利用度の高い素晴らしい公園とレクリエーション施設を作り出すには、住人のみなさんご希望やニーズを伺う必要があります。

12月から2月初めにかけて、郡と市ではニーズ評価のためのミーティングを約200回実施します。これは、今後数十年間の公園予算の用途に関する優先順位を方向付けるまたとない機会となります。

みなさんお誘い合わせの上でコミュニティミーティングにご参加ください

開催会場と開催日は次のサイトで：  
[LACountyParkNeeds.org](http://LACountyParkNeeds.org)

we all need



for healthy, thriving and engaged communities

### 環境の改善

道路や舗装された場所に流れ出た雨は、汚染物質を取り込んで川や湖や海岸にそのまま流れ込みます。ところが、未舗装の場所である公園は雨水を捉えて保持する上で大きな役割を果たし、降水を地下に浸透させて自然に浄化することを可能にします。また、公園の木々や植え込みも汚染物質を除去するので、私たちが呼吸している空気を改善し、温室ガスの削減に役立ちます。

### 経済の向上

素晴らしい公園の近くにある住宅の不動産価値は、公園の近くにない同じような住宅よりも15%高いことが調査によって示されています。不動産税の上昇によって市の財政も潤います。ロサンゼルス郡は何マイルも続く海岸線や主要な公園のおかげで観光客を惹き付けており、地元のビジネスを促進し、売上とホテル税による収益を生み出しています。

### 公園の平等利用に向けて

ところが、ロサンゼルス在住のすべての住人が平等に公園の恩恵を受けているわけではありません。公園や緑地まで歩いていける範囲に住んでいる住人は地域人口のわずか15%に過ぎません。全国的に承認されている基準では、公園面積が1,000人あたり4エーカーですが、多くのコミュニティがこれを下回っています。アフリカ系アメリカ人が大部分を占めるコミュニティではわずか1.7エーカー、ラテン系アメリカ人のコミュニティではたった0.6エーカーとなっています。<sup>5</sup>



LACountyParkNeeds.org

<sup>1</sup> こうした情報の多くは、「Trust for Public Land (公有地向けトラスト)」による2009年の調査「Measuring the Economic Value of a City Park System (都市公園システムの経済的価値の測定)」と2011年の調査「From Fitness Zones to the Medical Mile: How Urban Parks Can Best Promote Health and Wellness (フィットネスゾーンから医療マイルへ: 都市公園によって健康と福祉を最も効果的に促進する方法)」によるもの。

<sup>2</sup> UCLA Center for Health Policy Research (UCLA 健康政策研究センター) の2013年3月調査「Physical Activity, Park Access and Park Use among California Adolescents (カリフォルニア州青少年の身体活動、公園アクセス、公園利用)」より。

<sup>3</sup> 「Trust for Public Land (公有地向けトラスト)」による「Parks for People Los Angeles: the Case for Support (ロサンゼルスの人々にとっての公園: サポートケース)」より。

<sup>4</sup> ロサンゼルス郡の公衆衛生課による2011年9月の調査「Obesity and Related Mortality in Los Angeles County (ロサンゼルス郡の肥満および関連する死亡率)」と、2004年Evidence-Based Preventive Medicine (調査、根拠に基づく予防医学) の「The Relationship Between Community Physical Activities Settings and Race, Ethnicity and Socioeconomic Status (コミュニティの身体活動設定と、人種、民族性、社会経済的な地位との関係)」より。

<sup>5</sup> Jennifer Wolch (ジェニファー・ウォルヒ)、John P. Wilson (ジョン P. ウィルソン、および Jed Fehrenbach (ジェッド・フェーレンバック) による「Parks and Park Funding in Los Angeles: An Equity-Mapping Analysis (ロサンゼルス郡の公園および公園財源: エキイテムッピング分析)」(Urban geography 26, no. 1 (2005): 4-35) より。



ロサンゼルス郡全域対象公園および  
リクリエーションのニーズ総合評価